

入学生の皆さまへ

新入生の皆さま、ご入学、おめでとうございます。ご家族の皆さまにもお祝いを申し上げますと共に、本学への入学をご支援いただきましたことに深く感謝申し上げます。

皆さまも御承知のとおり、日本だけでなく世界中に新型コロナウイルスが蔓延し、パンデミック宣言が出されました。世界中の人々が感染の危機に晒され、亡くなられた方、感染症と闘っている方も多くおられます。このような状況に対し学生の皆さまの安全と健康を確保すること、そして感染拡大を防ぐための本学の社会的使命を鑑み、今年度は入学式の開催を苦渋の思いで断念致しました。

本学にとりまして、令和2年度は、さいたま看護学部が開設され、2つの看護学部をもつ大学として大きく飛躍する年となります。皆さまにとって人生の中で節目となる式典を開催できなかったこと、さらに、本学にとりましても記念となる年に、入学式を開催できなかったことは本当に残念です。

式典の開催は叶いませんでしたが、4月に本学に入学された学部生・大学院生の皆さまとご家族に、教職員はじめ関係者の皆さまと共に、新ためて心からのお祝いを送りたいと思います。

皆さまが入学された日本赤十字看護大学のルーツは、明治23年、西暦1890年の日本赤十字社の救護看護婦養成にさかのぼります。約130年前、看護への高い志をもった10名の学生から赤十字の看護教育が始まりました。

明治、大正、昭和の時代に、養成所、専門学校、短期大学を経て、昭和61年に4年制大学となり、平成の時代を歩んでまいりました。この歴史から分かりますように本学は看護におけるパイオニア的なリーダー校のひとつであり、本学で学んだ皆さんの諸先輩方はその誇りを胸にそれぞれの時代で、看護の道を切り拓いてこられました。

さいたま看護学部は、昭和11年4月の開設から約80年の看護教育の歴史をもつ「さいたま赤十字看護専門学校」を前身として、今年開学します。入学生の皆さまは、晴れの1回生となります。それぞれ長い歴史をもつ赤十字の看護教育機関が一体となり、日本赤十字看護大学として、新たな歴史を、これから刻んでいくこととなります。

本学の建学の精神は、赤十字の基本原則である「人道（ヒューマニティ）」です。これを看護において探求すること、人道を実現しようと努力する人を育成することが本学の教育理念です。人道というのは、人の道と書きますが、これは、どのような状況にあっても、人々の苦しみを癒し、人間の尊厳を守れるような人間的な行為における努力を惜しまないという赤十字の理念と目的をあらわしています。

今回の感染症も、世界中の人々の命と健康、生活を脅かしています。まだ先行きの見えない状況のなか、不安や恐怖を抱きながら、生活を模索する人々がたくさんおられます。

感染症を含めて病気や障害は、身体的な痛みだけでなく、精神や社会的生活上の、ひいては魂の痛みをもたらします。このような痛みに寄り添い、和らげ、人が持つ力を発揮できるように支援することが看護です。このことは赤十字の人道の理念と重なります。まさに、その人の全人的な痛みを少しでも、和らげようと、その人に関心を向け、寄り添う努力をし続けること、それが赤十字の人道（ヒューマニティ）を基盤とした人間的なケアのあり方です。

看護学は、健康や病気、障害に関する人間の営みと、そこでの援助を対象にした学問です。人が病気になったとき、あるいは災害などの被害にあったとき、それをどのように受け止め、対応していくのか、人々がそれらの課題に取り組み、乗り越えていくことをどのように援助するのか、看護学の探求課題は、尽きません。また看護学の特徴は実践学です。新しい知識を知ると同時に、目の前に倒れている人がいれば、すぐに手を差し伸べ行動するなど、常に実践をすることが求められます。

学部生の皆さまは、看護学を基礎から学び、そして人間の尊厳を守り、それを看護として実践できる力を自ら養ってください

国際保健助産学課程の大学院に入学された皆さまは、助産学の先端の知識や技術をしっかり身に付け、信頼される専門家としての道を歩んでください。

看護学専攻の大学院に入学された皆さまは、これまでの実践経験をもとにした疑問や探求課題を深く考え、看護学を探求してください。優れた看護専門家として、あるいは看護教育者・研究者への道を進んで欲しいと願っています。

最期に、本学の教職員は、学生一人ひとりを大切にする、という言葉を共有し、それをモットーにしています

学部生、大学院生ともに、皆さんそれぞれのご自分の個性や独自性に気づき、それを大切に伸ばしていけるよう、また同時に仲間の独自性も互いに尊重しあえるような関係を作っていって欲しいと願っています。

自由で伸びやかな精神を大切にして、自分自身の変化や成長を喜びとし、同じ看護を目指す仲間と語り合い楽しみながら、日本赤十字看護大学での日々を過ごされるよう期待して止みません。

私たち、教職員は、そのための力をおしませず、保護者の方々のお力添えをいただきながら、皆さまを最大限にサポートしたいと思っております

新入生の皆さまと、本学でお会いできる日を楽しみにお待ちしております。

令和2年 4月3日
日本赤十字看護大学
学長 守田美奈子